



Y.O 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間：2016 年 3 月 8 日～3 月 17 日（10 日間）

I. プログラムについて

このプログラムは、台湾の国立政治大学に行って日本語の授業を行うというものです。台湾に
いる期間は 10 日間ですが、日本にいる間から政治大学の先生と連絡を取り教案のアドバイスい
ただいたり、山本先生のご指導を受けたりします。台湾に行ってから、授業見学をしたり、政
治大学の先生とチューターの前で模擬授業をしたり、指導教官の教育指導を受けたりして教壇実
習に備えます。自分が授業を担当するクラスの授業見学もするので、そこで学生たちの日本語レ
ベルを知り、教案の修正を行えます。一緒に行く実習生とは、教案について意見を交換してお互
いによりよい教案にしていきます。

そして、このプログラムは実習だけではなく、チューターとご飯を食べたり、観光に連れて行
ってもらったりと現地の学生とたくさん交流できるところも魅力の一つであると思います。チュ
ーターがずっと一緒にいてくれるので、両替から買い物まで困ったことがあれば助けてもらえま
す。なので、中国語が話せなくても安心です。台湾の文化や生活に触れ、台湾についても知るこ
とができます。チューターとは連絡先を交換しているので、日本に帰ってからも連絡を取ってい
ます。

II. 参加希望者へのアドバイス

実習の面については、日本で作っていった教案を、台湾に行ってから教育指導などを受けて教
案を大幅に変える可能性があります。事前に準備をしっかりとっていくことは大切ですが、柔軟な
対応をできるようにしておくといいと思います。また、実際に授業をすると学生の反応を見なが
ら授業を進めることになります。自分が考えている時間配分通り進まないことがあると思うので、
「時間があればやること」と「時間がなければ削ること」を作っておくといいと思います。

生活面については、雨が多いので折り畳み傘がいます。また、日本より暖かいとはい
え寒い日が多かったので、暖かめの服装で行くことをおすすめします。生活用品や授業で使う文
房具などは、大学周辺も宿泊したホテル周辺もスーパー、コンビニ、ドラッグストアなどがある
のであまり過剰に持っていく必要はないかなと思います。食べ物も安くておいしかったです。

このプログラムに参加したことで貴重な経験がたかさんで、得るものもたくさんありました。
興味を持った人は、ぜひ参加してみてください。



F.M 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間：2016 年 3 月 8 日～3 月 17 日（10 日間）

I. プログラムについて

このプログラムは、日本での事前学習・現地の先生による模擬授業、ご指導・教壇実習・授業見学で構成されています。

事前学習は、2 回ほどでしたが台湾について知識を事前に勉強をしました。台湾について知っているというのは現地の学生との会話のきっかけにもなりました。この学習は台湾実習の基礎を身につけることができました。また事前に一緒に行く 6 人の実習生との親睦も深めることができました。10 日間はあっという間に感じましたが、家族以外の人と 24 時間一緒にいることは珍しく貴重な体験でした。

模擬授業は現地の先生が 2 時間ほど時間を割いて行ってくださいました。チューター（政治大学の日本語学科のボランティアの学生）たちにも見てもらうことができました。日本では顔見知りの友人たちの前でしか模擬授業経験のなかった私は、初めての体験にとっても緊張しました。

現地の先生によるご指導では、模擬授業をうけて変更点や改善点を担当の先生に見てもらいました。私の担当の先生は研究室まで招いてもらい、指導を受けることができました。授業についてはもちろん、先生の経験談や教育観などのお話なども聞けてとても有意義な時間を過ごせました。

教壇実習は模擬授業とは違って、とても楽しんで授業ができました。それは政治大学の学生さんたちのとても熱心で、一生懸命授業に望んでくれる姿勢のおかげだと思います。教壇実習以外にもこの姿勢に何度も救われ、刺激を受けました。

授業見学は、とても興味深かったです。先生ごとに授業の方針は全く違い、雰囲気や内容の異なる授業をたくさん見ることができました。文法などは中国語でされる先生が多く、私は中国語の勉強にもなりました。授業に参加させてもらえることもあり、学習者の立場の体験もできました。

休日や授業の後は、チューターが付きっきりでお世話をしてくれて困ることがほとんどありませんでした。みなさん日本語がとても上手でたくさん話したり、ご飯を食べにいたり、遊びにいたりとても楽しかったです。

ただ今年は、例年の政治大学の寮ではなく、様々な都合によりバスで 1 時間ほどの宿泊先でした。時間面、チューターのいない場所、少しの不安や些細なハプニングはありましたが、台湾の人は政治大学以外の街の人もとにかく親切で何度も助けられました。

以上がこのプログラムについての大まかな体験談です。とても充実した 10 日間と暖かい現地の人たちに囲まれて、台湾という国ごと大好きになって帰ってきました。短い体験談ではありますが、そのことが少しでも伝われば嬉しいです。



Ⅱ. 参加希望者へのアドバイス

実習に関しては、パソコン必須です。実際の学習者を見たり、指導いただいたり、授業内容を大幅に変えることが出てきます。プリントや教案を作り変えたい時に普段の自分の日本のパソコンがあったほうが便利だと思います。パソコンは飛行機に手荷物とは別にプラスで持って入れるものを持っていくことをおすすめします。

現地での臨機応変さももちろん重要ですが、事前の準備を十分だと自分が思うよりもさらに多めにしておいて下さい。台湾実習とても楽しいです。それを最大限に楽しみきるためにも日本での準備を怠らるように気をつけて下さい。

生活面では大体困ったことや質問はチューターが助けて下さいます。頼りすぎるのも良くはないですが皆さんとても親切です。ありがたいの気持ちを忘れずに。

そしてとにかく雨が降るので注意して下さい。



M.N 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間：2016 年 3 月 8 日～3 月 17 日（10 日間）

I. プログラムについて

10 日間、政治大学にて授業見学や授業参加、教壇実習をしました。土日にはチューターにつれられ淡水や台北 101 や九份、龍山寺に行きました。日本語教育の現場を体験するだけでなく、台湾の文化や習慣にも触れられたことがとても良かったと思います。

政治大学の学生さんはとても優秀で読み込みがよく、多少説明不足でもある程度理解してくれました。まだまだ未熟な私たちはそんな学生さんに何度も救われましたが、政治大学の先生方には「これが普通だと思うな」と何度も釘を刺されました。と同時に“学習者の多様性”についても考え直した瞬間でもありました。

台湾の学生さんととても仲良くなり、いまでもたまに連絡を交わすほどです。実際の学習者と触れ合うだけでなく、友達も増えてとても楽しく充実した 10 日間になりました。

II. 参加希望者へのアドバイス

日本語教師という仕事に本気で興味がある方はぜひ参加をしてください。実際の教育現場を見たり、現役の日本語の先生にお話を聞いたりなどとても得の多い 10 日間になるはずです。ただし同志社女子大学の代表としていくという自覚を持って実習に励んでください。

実習前は余裕を持って 1 か月は予定を入れすぎないようにすると良いと思います。先生と連絡を取り合ったり授業準備をしたりなど意外に時間がかかります。私はアルバイトを詰めて入れてしまい、準備の時間を作るのが大変でした。荷造りもこつこつ進めていきましょう。

現地では自分から積極的にいろんなことに挑戦しましょう。空いている時間政治大学の授業に潜り込んでいる実習生もいました。先生方にもたくさん質問しましょう。必ず丁寧に答えてください。

そして自分の行う教壇実習の準備を怠らないようにしてください。いい加減な授業をしてしまうとその授業を受けた学生さんだけでなく先生方や多方面への失礼になります。しかし 10 日間を終えた時、自分の成長を感じられるはずです。自分のもっている力の 120%を出せるよう頑張ってください。